



ごあいさつ

モビリティ社会の未来を見据えて「新たな扉」を開き、
社会から喜んでもらえる存在感ある企業をめざしてまいります。

当社は2019年1月、社名を変更し、TOYO TIRE 株式会社として、新たな扉を開きました。私たちTOYO TIRE 株式会社は、国内で唯一、TIRE(タイヤ)を社名に掲げるメーカーであり、モビリティにかかわる事業に従事できる喜び、誇り、責任、覚悟を社名に冠しています。

当社は1945年8月、時代の要請に応えるべく、タイヤ・ゴム製品を製造するメーカーとして誕生し、以来、70有余年にわたり、たゆまず技術革新を積み重ね、社会の変化や進化をとらえた製品を世界中のお客様にお届けしてきました。

性能や品質に磨きをかけることはもちろん、独創的で趣向性にあふれたデザインの実現にこだわりを持ち続け、また、差別化された高い付加価値を生み出すことが、当社の思想として息づいています。

蓄積してきた技術という無形の財産はもとより、設備や拠点といった自分たちの有するリソースをいかに活用して、その価値を最大化させられるか。そのために、社員一人一人が知恵を絞り、結束して機動的に動いていく。これが当社の持ち味であり、存在価値を形成する源だと考えています。

多くの皆さまもすでにご承知のとおり、現在、自動車産業界は100年に一度と呼ばれる一大変革期を迎えています。

これから10年先、20年先、私たちが見るクルマ社会は今とはずいぶん違う光景が広がっているはずです。皆さまは、未来のモビリティ社会にどのような夢を描いておられますか。どのようなことを期待されているでしょうか。

モビリティ社会の変化とともに、製品に求められる役割も皆さまに提供していくべき価値も変化し始めています。当社では、すでにさまざまな先行技術開発に取り組んでおり、将来に向けた新しいテクノロジーの芽も芽吹いてきています。

当社の理念では、「私たちの使命(ミッション)」として、「お客様の期待や満足を超える感動や驚きを生み出し、豊かな社会づくりに貢献する」ことを掲げています。これは、ご要望のあった課題を解決するだけでなく、新しい気づきや喜びを提供していくことを自らの信条として、社会に約束するものです。

社員一同、モノづくり企業としての原点を常に見つめ、社会の皆さまに喜んでいただける存在感ある企業をめざしていく所存ですので、今後とも皆さまからのご厚誼を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2019年1月

代表取締役社長 清水隆史